

平成29年度

県政と周防大島のくらし

山口県議会議長 柳居俊学





Syungaku Yanai Activity report やないしゅんがく 活動レポート

平成30年 1月15日

柳居俊学事務所 俊和会

柳居俊学 活動Report

『宮本常一先生の教え胸に 地域自治への熱い思い』

新年明けましておめでとうございます。

県民の皆様におかれましては、さわやかで輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

私は、昨年の2月に第63代山口県議会議長に選任いただきました。皆様方の温かいご支援、ご協力のもと、引き続き、議会活動の活性化や透明性の向上を図るとともに、公正で円滑な議会運営に努め、県民の皆様により分かりやすい「開かれた県議会」を目指してまいります。

また、7月には、第71代全国都道府県議会議長会の会長という大役を仰せつかりました。都道府県議会の代表として、地方六団体の皆様とも一致協力しながら、地方創生の着実な推進や地方財政基盤の充実など、地方の思いや提案をしっかりと国・政府に届け、これまで以上に連携・協力しながら、地方が抱える諸課題の解決に、全力で取り組んでまいります。

さて、今年の干支は、「戌(つちのえ・いぬ)」であります。「戌」は、社会性と勤勉さを持ち合わせ、鋭い嗅覚で人を支えてきたところ です。私といたしましても、今まで培った幅広いつながりを大切に、鋭い視点を持って、地方自治の振興・発展のために力を尽くしてまいります。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈りいたしますとともに、県議会に対しまして、どうか本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

第71代全国都道府県議会議長会 会長

柳居俊学



2月

●三階俊博自民党幹事長面談



●三浦植樹祭



●自民党「おいでませ山口物産フェア」



●自民党大会にて



●外務省飯倉公館にて



●岩国基地要望



3月

●台湾野柳地質公園訪問団



●春の園遊会



●明治150年プロジェクト推進室設置



●林 芳正文部科学大臣ご夫妻と



4月

●石井啓一国土交通大臣県内視察



●桜を見る会



●安倍昭恵夫人と



5月

●ベトナムキエンザン省歓迎夕食会



●堀井 学衆議院議員面談



●モノサス進出協定調印式



6月

●野田学園高校県議会見学



●政府要望



●新原芳明呉市長面談



●久保留后子宇部市長面談



●岩国基地空母艦載機移駐容認伝達



●九州北部豪雨に係る義援金手交



7月

●全国都道府県議会議長会会長
就任記者会見



●全国都道府県議会議長会会長就任挨拶



●故 吹田 愷先生お別れの会



●山口中央高校新聞部議長室訪問



●高知県議会議員団面談



●中国五県議会正副議長会議



●故 畑原基成前議長初盆参り



●全国戦没者追悼式



●自民党総務部会



●県内12JA合併締結式



8月

●三議長会会長要請活動



●福田達夫防衛政務官面談



●全国都道府県議会議長会会長就任祝賀会



●山口ステイネーションキャンペーン



●県商工会議所連合会要望



●橋本聖子自民党参議院議員会長面談



●内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会



●県立美術館訪問



●山口ゆめ花博7年前イベント

9月



●全国都道府県議会議長会総会



●全国都道府県議会議長会表彰状授与



●海上自衛隊岩国航空基地記念式典



●自民党政経セミナー 講師 三浦瑠麗さんと

10月



●防長英霊の塔慰霊祭



●拉致問題を考える国民の集いin山口



●都道府県議会議員研究交流大会



●西村康稔内閣官房副長官面談



●金子万寿夫衆議院議員面談



●山口泰明衆議院議員面談



●小野寺五典防衛大臣面談



●内閣総理大臣面談



●梶山弘志地方創生担当大臣面談



11月

●自民党参議院役員面談



●大橋一功大阪府議会議長面談



●小泉進次郎衆議院議員面談



12月

●花を贈ろうキャンペーン



●大殿中学校県議会見学



●県知事選挙事務所開所式

教え胸に地方自治

宮本常一



生誕110年

地元の浄土宗・神宮寺の住職の顔も持つ。宮本家は寺の檀家で、都内で行われた宮本の葬儀では柳居が導師を務め、境内には宮本が眠る墓がある。

県議会の第63代議長・柳居俊学(67)は、議長室の執務机の引き出しに宮本常一(1907～81年)の講演を収録した冊子「夢と情熱」を入れている。「いつでも読めるようにね。私にとって大切な地域づくりの原点なんです」

柳居は宮本と同じ旧東和町(現周防大島町)の出身。

口ゆめ花博



議長執務机で宮本の講演録を手にする柳居議長

全国都道府県議会議長会会長
柳居俊学さん

調査先への送迎役も引き受けた。

本堂では度々、産業振興などの貴重な話を聞いた。「重要文化財というのは、みんなが力を合わせたらつくれるんだ」。宮本の呼びかけで町内で始まった民具収集活動には、仲間を集めて参加し、教えを受けた。

1980年3月には、宮本の提唱で、古里について学ぶ「郷土大学」の活動が旧東和町で始まる。冒頭の冊子は、晩年の宮本が発足記念で行った講演を取めたもので、地域づくりに関する言葉が記録されている。

△郷土を立派にするにはどういふふうにするかといふと、結局この土地に関心を持つ人々がそれぞれ立場で話をしていきながら、色々の工夫と実験を試みることはなからうか

△豊かな土地というのは、我々自体が郷里の進むべき方向を見つけていろいろのことに実践してみる。

青年期に深く交流、志受け継ぐ

これが一番大事なこと▽
柳居は旧東和町長選への立候補を決意する。宮本に報告すると、民具を国の指定文化財にすることや、町外に出た人との交流を進めることなど数々の「宿題」を言い渡されたという。

宮本の没後間もなく、柳居は31歳の若さで旧東和町長に初当選する。宮本が書いた町誌の発刊をはじめ、コミュニティ活動の推進、農林水産業の振興、観光開発……。宮本の考えを受け継ぎ、多くの事業を手がけた。

その後、柳居は県議に転身し、7回連続当選。今年7月には、地方6団体の一つ、全国都道府県議会議長会の会長に就任した。

「昭和の大合併、平成の大合併、地方創生といった地方自治の節目には、宮本先生の教えが注目されてきた。人間の暮らしの原点を示しているからでしょう」と指摘し、「私は宮本先生の視線で取り組んできた。地方の声、悩みを政府に伝えたい」と語った。

(文中敬称略)
△(おわり。小川紀之、北川洋平が担当しました)

俊和

県政報告

柳居俊学事務所

〒742-2921 山口県大島郡周防大島町西方
TEL(0820)78-1235
FAX(0820)78-2118

地方創生と大島創生

山口県議会議長

柳居俊学



新緑の候となりました。皆様には
お健やかに過ごしのこととお慶び
申し上げます。

このたび、畑原基成前議長の突然

のご逝去によりまして、急遽、その
後を引き継ぐことになり、山口県議
会第六十三代議長に再任をされまし
た。



▼畑原基成議長ご逝去

今年一月八日、六十二才でご逝去
されました畑原先生と私は、ともに
町長の経験者ということで、地域づ
くりにかける思いは互いに通じ合う
ものがありました。二十年近くにわた
って、無二の親友として、同志と
してともに手を携えて参りました。

畑原先生は、県議会、山口県を支
える大きな柱でした。またそのお人
柄は、だから私も親しまれ、愛され
ていました。余人をもってかえ難い
畑原先生を失ってしまいましたこと
は、残念であり、痛恨の極みです。

これからは、畑原先生の熱い志を
しっかりと受け継ぎ、議会改革や山
口県の更なる発展と県民福祉の向上
に向け、議長の職責を全力で果たし
てまいる覚悟です。

▼人口減少の克服と地方創生

人口減少、少子高齢化が一段と深
刻化する中、安倍総理の下で進めら
れている国の取り組みと連携しながら、
新しい活力を生み出し、元気で
魅力的な山口県を創り上げていくこ
とが何より大切です。

村岡知事が掲げる「未来開拓チャ
レンジプラン」も目標最終年を迎え
ます。本県独自の地方創生の取り組
みを更に具体化し、知事としっかり
連携して、最優先で取り組んで参り
ます。

▼米軍再編問題

喫緊の課題となっている岩国基地
の米軍再編問題は、岩国基地が存在
する限り、負担を抱えることになる
地元の実情をしっかりと踏まえ、県執

行部や関係市町、県選出国会議員等
との連携を強化して取り組んで参り
ます。そして、安心・安全対策の充
実、特別措置法の制定や特段の地域
振興策の実現など地元住民の皆様や
周辺自治体が納得出来る形での解決
に向けた取り組みを強力に進めて参
ります。

この度、基地議連の会長も畑原前
会長から引き継ぎ、再任されました。
その責務の重大さに思いを致し、関
係の皆様のご指導とご協力を頂き、
この課題解決のため全力を尽くして
参ります。

▼大島創生

わが周防大島では、周防大島高校
安下庄校舎の新築及び改築工事、久
賀・大島地区公共下水道事業、東和
総合支所・教育庁舎整備事業、若者
定住住宅用地整備事業、みなとオア
シス整備事業、B & G 海洋センター
体育館空調設置事業、さらに、白木
半島地区コミュニティ協議会設立など
新しい地域づくり、人づくりの事業
が目白押しです。

また本年は、星野哲郎記念館が開
館して十周年、宮本常一先生がご生
誕百年の記念すべき年にあたりま
す。関係の皆様による記念事業が計
画されているとお聞きしています。
周防大島の誇るお二人です。大きな
盛り上がりを期待しています。

地方創生、大島創生へ向けて、こ
れからも皆様と力を合わせ、チャレ
ンジを続けて参りたいと存じます。
どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



▽今年、星野哲郎先生の記念館がオ
ープンして十周年。宮本常一先生が生誕百
十年の節目となる。両先生と柳居議長の
縁(えに)は深く、格別の親交があっ
た。その縁の深さを思えば、柳居議長は
両先生の薫陶を受けた第一人者である
といってよい。

▽ともに戦後の日本に大きな業績を残さ
れた両先生であるが、そのお一人に共通
するものは何だろう。共通するところは、
生まれ、育った場所だけではなく、お二
人に通じるものは、生まれ、育ったこの
ふるさとをこよなく愛されたということ。
そのお仕事の原点が、このふるさとにあ
ったということである。

▽星野先生は、「僕にとって、ふるさと
は力、詩を書く力、頑強な力」であり、
「私と私の歌を支えたのは、ふるさとの
海と山だ」といつも語られ、先生の作品
には常にふるさとが偲ばれるといわれた。
▽宮本先生は、「私にとってふるさは生
きざまを覚えてくれた大事な世界であ
り」、「郷里から広い世界を見る、動く世
界を見る。いろいろの問題を考える。私
のように生まれ育ってきた者にとっては、
それ以外に自分の納得のいく物の見方は
できないのである」ともの見方、考え
方、行動の原点を常にふるさとにおかれ
ていた。

▽戦後の日本に大きな足跡を刻んだ両先
生の原点、軸がふるさとだということ。
そのふるさと周防大島に暮らす私達は、
この言葉をしっかりと噛み締めたいと思
う。

▽ふるさとに軸足をおきながら、広い舞
台で活躍をするということは、両先生か
ら薫陶を受けた柳居議長にも見えること
だろう。政治の世界は、波瀾万丈である。
両先生とは舞台は違うが、柳居議長は新
たな舞台で、周防大島のために、山口県、
日本国のためにさらなる活躍をすること
だろう。私たちも柳居議長と共に軸足を
ふるさとにおきながら、新たな課題にチャ
レンジしていきたいものである。



ホテルの個人会
県庁裏敷訪問
H29.4.4



ゆめ花博推進室
「明治維新150年プロシエ
クト」看板設置
H29.4.3



桜を見る会

H29.4.14



防衛大臣幹事部交番
開所式
H29.4.27



第84回 自由民主党
大会
H29.3.15



山形県 常設ネット 交流会

山形県土地
政策研究会
第10回土地政策及び方言
表彰式・第60回選挙総会
H29.3.15



起成郡地政庁設置
開所式
H29.3.25



山形県知事
表彰式
H29.3.15



「美しい三浦を創る会」
主催の第10回植樹祭
H29.2.27



地方創生支援
取組公募活用対外英語事業
岸田外務大臣及び村田知事
共催レセプション
H29.3.29



児童看護施設
「ライクホームはるの」
H29.3.25



山口県立大
オープニングセレモニー
H29.4.3



山口県立大
新キャンパス
H29.4.3

柳居俊学県政活動報告

平成28年度



祝 創立10周年記念式典



自民党山口県支部運営会政経セミナー
ゲスト・キルハートさんと
H28.10.30



参議院議員 林よしまさ 岩

防大高松校10周年
記念式典であいさつ
H28.10.24



「星野哲郎 スカシヤ」展

星野哲郎スカラシップ
表彰式であいさつ
H28.11.6

参議院議員
林よしまさ
国政報告会
H28.11.6



自民党本部で
山口物産展を開催
H29.2.16

星野哲郎先生
の七回忌法要
H28.11.14



二瓶幹事長に
村岡県知事と訪問
H29.2.16

北村経夫国政報告会および新春懇話会



参議院議員
北村経夫国政報告会
H29.1.21



自民党本部へ
岩国基地要望
H29.2.16



文教警察委員会
視察
H28.5.18

由民治塾 山口県連
口政治塾 第2回講座



自民党山口県連
山口政治塾で
あいさつ
H28.8.27

参観した、
安倍総理と
H28.8.14



山口県東部
高速道路整備促進会を
石井国土交通大臣に要望
H28.8.29



山本幸三
地方創成担当大臣に面会
北村経夫議員と共に
H28.9.1

リオデジャネイロ
オリンピック
大田忍選手帰国報告会
H28.9.19



洋裁教室の
村岡県知事を案内
する岩国県議
H28.8.28



祝 大田忍選手帰国報告会



ゆめ花博推進室
「明治維新150年プロジェクト」着任式
H29.4.3



ホテル川原人会
開庁奉迎訪問
H29.4.4



桜を見る会

H29.4.14



高防大船幹部交番
開所式であいさつ
H29.4.27



「美しい三浦を創る会」
主催の第10回植樹祭
H29.2.27



地方創生支援
飯倉公館活用対外発信事業
岸田外務大臣及び村岡知事
共催レセプション
H29.3.23



児童養護施設
「ライクホーム」はるか
であいさつ
H29.3.26



第84回 自由民主党大会

第84回自民党
大会で表彰を受ける
H29.3.6



山口県土地
改良事業団体連合会
第35回土地改良功労者
表彰式・第60回通常総会
であいさつ
H29.3.16



岩国基地政府希望
菅官房長官
H29.3.26



台湾地質公園
訪問による奉迎訪問
H29.3.31



山口県立大
オープニングセレモニー
H29.4.3



公立大学法人山口県立大学
「ニューハブ」オープン

平成29年度周防大島町主要事業

(千円)

1 安心して子育てをみ育てられる町づくり	44,108	8,867
・小中学校施設空調設置事業	1,650	14,000
・特定不妊治療費助成事業	17,816	12,355
・ちびっこ医療費助成事業	8,688	34,627
・中学生医療費助成事業	2,173	1,065,821
・部学留学支援事業	1,323	9,000
・読書活動推進事業	1,680	
・保健所活動講師派遣事業	22,359	4,299
・地域子育て支援拠点事業	8,664	17,880
・外国青年英語指導事業	130,513	5,197
・児童手当事業		17,880
2 働く意欲の湧き出る町づくり	2,000	51,344
・合意形成促進事業	27,900	4,000
・ミニラボアセスメント整備事業	26,945	4,973
・トレーナールーム整備事業	22,951	130,252
・有資格者研修事業	29,800	98,900
・若者定住住宅用地整備事業	4,505	223,041
・島島産物加工施設整備事業	9,000	4,475
・島島産物加工施設整備事業	2,400	52,000
・新規就業者確保事業	18,750	
・産地競争力強化対策事業	21,334	255,375
・ニューフィッシャリー確保育成促進事業	10,925	161,609
・エデュカル竹林整備事業	2,000	107,000
・大島相模産地継承歩道計画関連事業	2,550	6,200
・県道放流育成事業	11,855	15,226
・漁港設置事業	20,477	2,818
3 自然と環境にやさしい町づくり		
・立花島し尿処理施設整備事業		
・東和片浜地区公共下水道事業		
・農業系排水施設長寿化計画等指定事業		
・合併浄化槽整備事業		
・久賀、大島地区公共下水道事業		
・公共下水道長寿化計画指定事業		
4 晩年を豊かで安心して暮らせる町づくり		
・高齢者福祉計画、介護保険計画等指定事業		
・耐震性防火水栓整備事業		
・土砂災害ハザードマップ整備事業		
・B&G海洋センター体有施設改修事業		
・自主防災組織防災教育教材整備事業		
・成人用防災訓練ワークショップ		
・道路新設改良事業		
・漁港漁場機能高度化保全事業		
・海岸保全整備事業		
・木造住宅耐震調査、耐震改修補助事業		
・海岸堤防等老朽化対策事業		
5 次世代に豊かさを約束する町づくり		
・東和総合支所、教育庁舎整備事業		
・積極型センター空調設備等改修事業		
・浮島地区海産水産物販路事業		
・定住促進対策事業		
・空き家有効活用事業		
・企業誘致対策事業		

周防大島町の動き

進む公共下水道整備事業

用水路や公共水栓の水質保全、夜通な生活環境の保全、さらには衛生管理を図るため久賀、大島地区において、公共下水道整備事業が進んでいます。

総事業費は、約百億円を平成二十六年に着手され、完了は十八年度を目指しています。

久賀、大島地区の公共下水道整備事業は、約百億円を平成二十六年に着手され、完了は十八年度を目指しています。



公共下水道整備事業の現場。大島地区の公共下水道整備事業は、約百億円を平成二十六年に着手され、完了は十八年度を目指しています。

小中学校の環境整備事業

平成二十八年事業で、久賀中など三小中学校の屋内運動場の安全対策として、天井等落下防止ネットの設置が行われました。これで全小中学校の屋内運動場の改修が完了しました。

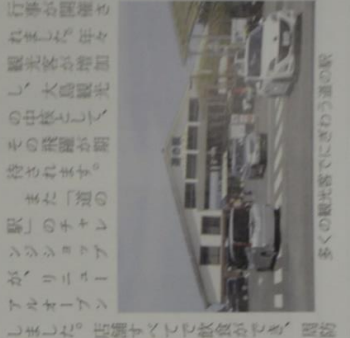
また校舎の耐震工事も、平成二十六年に全小中学校が完了しています。さらに、明新

小学校と臨時小学校の普通教室に空調設備が設置されました。町ではこの事業を進めて、平成二十五年には全小中学校を整備する予定です。

道の駅二十周年

★チヤレシジョップ★ リニューアルオープン

「道の駅チヤレシジョップ」が二十周年を迎え十月二十日に、おみやげのふるまいやみかん詰め放題、フランクスのほか、行事が開催されました。



道の駅チヤレシジョップ。リニューアルオープンした。店員さんやお客様が笑顔で迎えています。

多くの観光客でにぎわう道の駅。リニューアルされたチヤレシジョップ。おみやげやみかん詰め放題、フランクスのほか、行事が開催されました。

平成28年度トピックス

大島大橋開通四十周年

島民の大きな期待の中、昭和五十一年に開通した大島大橋は、四十年を迎えました。平成二十八年には無料化され、交通量も増え、四十年を記念して記念祭の開催や、大橋を望む瀬戸公園では、遊歩道の整備や植栽が行われました。



周防大島幹線交通完成

役場久賀庁舎の東側に、新しく柳井警察署周防大島幹部交番、周防大島地域安全センターが完成しました。既存の庁舎の老朽化によるもので、島民を力強く見守ります。



しま・ひと・みりよく 再発見イン浮島



九月二十五日、「しま・ひと・みりよく」再発見イン浮島が開かれました。来島された村岡副知事からは、イワシ漁業やイロコ加工場などを視察後、島民の発展や島の将来について意見交換しました。

周防大島高校創立十周年



周防大島高校が設置されて、平成二十八年で十周年を迎え、十月二十日四日記念式典が行われました。周防大島高校は進修科中高一貫教育を推進しており、地域活性化の貢献が、これにより数々の賞を受賞。地域創生科の設置や、新設された福祉専攻科の設備など、教育環境の充実を図っています。

四境の役シボシボ

四境の役から自立陣地を築き、四境の役シボシボが、六月四日大島文化センターで開催されました。講演や寸劇なども催され、「大島島の戦い」での島民の活躍を思いをさせていました。



「大島島の戦い」合同追悼式

四境の役大島島の戦いを追悼合同追悼式が七月十九日、久賀総合センターで開かれ、関係者約百人が参列。舞の奉納や園児による太鼓の演奏などもあり、長州軍、幕府軍の戦死者の冥福を祈りました。



旧和田小に企業が進出

平成二十六年三月に閉校した和田小学校に、㈱シボシボが、七月にシボシボライトオオフレックスを開設しました。シボシボは地産地消を推進する技術の会社で、将来的には十数名の社員を予定しており、地域の活性化に大いに期待されます。



ニホンアワサコ シンポジウム

ニホンアワサコなど、周防大島の海の資源を活用した地域づくりを考えるシンポジウムが、十月一日開催されました。主催はNPO法人周防大島漁業研究会。小学生による「海の生き物」絵画展も、なぎさ水族館で開催された。ニホンアワサコが主役で、おもしろかったです。



大島一周駅伝七十周年

十一月十八日開催の「大島一周駅伝」は昭和十三年、国鉄バス開通記念で始まり、七十四回を数えることになりました。大島一周駅伝は、島民の支援を協力して成り立っている。まさに地車とともに歩んできた七十年です。



第三十三回 大島ロードレース大会

大島ロードレース大会が二月五日、十部門に約千四百人の選手の参加を得て開催されました。ハーフマラソンなどは自協会や中学生、子供会の協力による給水所が設置され、給水のかたわら、選手に熱い声援を送っていました。



星野哲郎先生「えん歌の島」で歌合戦

星野哲郎記念館開館十周年記念

周防大島観光協会、周防大島町などの主催、星野哲郎記念館などの後援、JA山口大島、大島郡水産共励会、周防大島町商工会の協賛で、「金曜日はえん歌の島で歌合戦」（ふるさとオーディション）が始まりました。これは町出身の作詞家、星野哲郎先生の「えん歌の里」をさらに広めていくものです。

星野哲郎先生は、チャンスに恵まれない実力派歌手に光を当てようと昭和六十三年、先生主宰のチャリティーコンサート「全日本えん歌蚤の市」を、周防大島を皮切りに始められました。その後周防大島を中心に全国各地で開催され、平成十五年周防大島でのファイナルまでに十三回を数えました。「蚤の市」では多くの演歌歌手が出演し、地域起こしにも大きく貢献されました。こういった点からも、周防大島はまさに星野哲郎先生の「えん歌の里」、「えん歌の島」。

「歌合戦」では、八月二十五日までの毎週金曜日に、町内温泉施設など四箇所ですべて一次予選会。そして「月間チャンピオン歌合戦」、「グランドチャンピオン歌合戦」へと進み、最終は島のスターとして夢の歌手デビューが待っています。

お問い合わせは、周防大島観光協会（TEL0820の72の2134）



ありし日の星野先生と

星野哲郎先生スカラシップ

星野哲郎先生スカラシップ(奨学金)表彰式が11月6日、星野記念館で行われました。この奨学金制度は、星野先生がふるさとへの感謝と人材育成のために創設されたもの。

9回目を数えるスカラシップは、これまで数多くの学生に奨学金が贈られており、表彰式出席の星野先生のご子息、有近真澄さんは、「星野哲郎の意思を継いで、困難にめげず自分の夢に立ち向かって下さい。」と熱いエールを送られました。



受賞者と記念撮影

情島小中学校が休校「あけぼの寮」が移転

情島小中学校は、油田尋常小学校情島分教場などの歴史を経て、昭和34年

に現在の情島小中学校となりました。

当時は100名を越える児童生徒を数えましたが、平成18年末に地元の子供がいなくなり、隣接の「あけぼの寮」の寮生のみとなりました。この「あけぼの寮」の岩国市への移転に伴い、情島小中学校は長い歴史に休校という形でその幕を下ろしました。

設立から60数年を迎える情島の「あけぼの寮」は、施設の老朽化等のため今年4月に岩国市に移転し、名称も児童養護施設「ライクホームはるか」として新たな一歩を踏み出しました。

「あけぼの寮」は、地元の方が土地の提供や自己資金で施設を建て、戦災孤児達を受け入れたのが始まりで、以来多くの子供たちが寮から情島小中学校に通い、永年島民の一員として地域とともに歩んできました。



休校となった情島小中学校（右側前があけぼの寮）

周防大島高校の新築改修工事

周防大島高校安下庄校舎の、新築及び改修工事が計画されています。普通教室棟・昇降棟等解体工事、校舎新築工事（管理棟兼普通教室棟を新設）、旧管理棟改修工事（管理棟を特別教室棟に改装）

など、平成32年に完成の予定。すでに平成26年より法面の防災・補強工事が着手されています。



法面工事が進む周防大島高校



仮校舎